

Ⅱ 方針，教育・研究，研究指導，修了要件，履修方法

1 農学研究科の学位授与の方針

佐賀大学大学院農学研究科の教育目的に沿った知識・技能を修得し，以下に示した学生が身につけるべき具体的学習成果の達成を学位授与の方針とする。

この方針に従って教育課程を編成・実施し，佐賀大学大学院農学研究科履修細則に定められた所定の単位を修め，修士論文審査に合格した者に対して修士（農学）の学位を授与する。

1. 高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し，情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして，企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる力を身につけている。
2. 生物資源の開発と制御，環境保全と持続的農業生産，生命化学と食糧科学，地域社会の持続可能な開発などの分野で，先端的・応用的・実用的な能力を身につけている。
3. 中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・団体・行政・研究所等の職場で，実行力をもって活躍できる力を身につけている。

2 農学研究科の教育課程編成・実施の方針

教育目的

佐賀大学大学院農学研究科の教育目的は，科学技術が高度化・多様化・国際化する時代の中で，社会のニーズに応えられる人材，すなわち確固たる専門基礎知識に裏付けられた正しい価値観を基盤とし，冷静かつ柔軟な判断力・行動力を兼ね備えた創造性豊かな専門職業人になるべき人材を育成することである。

農学研究科唯一の専攻である生物資源科学専攻において育成する人材は，第1に，高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し，情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして，企業や社会において能力を発揮できる専門職業人であり，第2に，生物資源の開発と制御，環境保全と持続的農業生産，生命化学と食糧科学，地域社会の持続可能な開発などの分野で，先端的・応用的・実用的な能力を発揮できる高度な専門職業人であり，第3に，高度な農業技術と経営管理能力を有し，中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・団体・行政・研究所等の職場で，実行力をもって活躍できる高度な専門職業人である。

教育課程の編成・実施

以上のような農学研究科の教育目的を達成するために，本農学研究科には，生物資源科学専攻の1専

攻を置き、その中に5つの主コース（応用生物科学コース・生物環境保全学コース・資源循環生産学コース・生命機能科学コース・地域社会開発学コース）と1つの副コース（農業技術経営管理学コース）を設置する。

また、1単位制講義を基本とするサブ・セメスター制度を導入し、柔軟なクロス履修による専門横断的な知識の修得を可能とする教育課程を編成する。専攻共通科目として農学総合講義2単位を必修とし、基礎教育科目5科目（各1単位）から2単位を選択必修とすることにより、農学における基礎的で広い知識も修得できるように配慮する。

さらに、それぞれの主コースには教育研究分野を配置し、すべての学生はいずれかの教育研究分野に所属し、指導教員の指導のもとで特別研究（必修）を履修する体制を整える。